

■農業委員の公募状況(令和6年3月15日)

1. 被推薦者数 0人
2. 応募者数 2人

○農業委員応募・推薦者一覧

応募・推薦の別	応募者(被推薦者)	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者の別	農地利用最適化推進委員への申込(推薦)の別	応募(推薦)理由	推薦をする者							
										団体等				農業者等			
										名称	代表者の職・氏名	目的	構成員の人数	氏名	職業	年齢	性別
1	応募 たけうち 豊 武内	自営業	65	男	昭和61年 就農 平成21年 野上水稲産産組合役員 就任 平成22年 下野上生産組合役員 就任 令和2年 行政区役員 就任	(現在休業中) 水稲・大豆 自作地32,304㎡	—	無	私は昭和61年から37年間水稲栽培に従事した。 減反政策時は地域担い手として 添削主要作物である大豆生産を行い、 収益向上に努めた。 町の農業を守りたいとの思いから 今までの経験を活かし営農再開を 考えている方々の支援をするため に農業委員へ応募します。	—	—	—	—	—	—	—	
2	応募 うえすぎ 富夫 植杉	自営業	64	男	大熊町農業復興組合 事務局 (令和元年4月から現在まで)	(現在休業中) 水稲 自作地12,000㎡	—	無	今後管理耕作が増えていく中で、 農地の適正利用は欠かせない問題である。 町内において農地の保全管理を行 っている関係で、ある程度どこにど のような農地があるのか分かっている。 また、農協に11年勤務していたこと もあり、農地所有者もわかることが 強みであることから、今回応募し た。なお、トラクター2台、フレール モア、スライドモア、ロータリー等 を所有しているため、委員会の各 種作業に貢献できる	—	—	—	—	—	—	—	